



車載カメラのグラベロ試験

自動車の自動運転システムや自動ブレーキシステム（衝突被害軽減システム）等に使用される車載カメラやセンサーを対象としたグラベロ試験が可能です。

車外に取り付けられるパーツは、常に路上の石や砂の衝突の危険性があります。グラベロ試験を実施することにより、耐衝撃性を考慮したパーツの設計および材料の選定が可能となります。

車載カメラを対象としたグラベロ試験条件

項目	従来	車載カメラ
射出距離	350 mm	50～350 mm
射出物	玄武岩	玄武岩・ケイ砂
射出角度	90°	20°～150°

高い安全性が求められるパーツは、従来よりも過酷な試験条件での評価が求められます。

ご指定の距離や角度に対応した治具を作製し、ご希望の条件で試験を実施いたします。

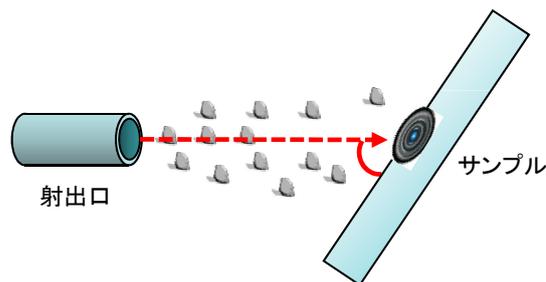


図1 試験イメージ

射出物による鮮明度



図2 ポリカーボネートのグラベロ試験

（左：試験前、中：玄武岩6号砕石500g、右：ケイ砂500g）
透明な試験体の背景にJFEマークを置いて撮影しています。

射出物により鮮明度が極端に低下することがあります。

試験の対象となる製品例

- 自動車：自動運転用バックモニター等の車載カメラ
LEDライトやセンサーのガラスや樹脂製カバー
コンバーター等の車外化が検討されている部品

カバー等を利用し、サンプルへの間接的な耐チップング性評価も実施可能です。

グラベロ試験機

- 低温実施例：-40°C
- 高温実施例：85°C※1
- 射出空気圧：0.2～0.6 MPa（2～6 kgf/cm²）

※1 試験前のサンプル保持温度



写真1 グラベロ試験機



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。